

## 自閉スペクトラム症の空くん

第3回

### みんなの中で 「いい自分」を 感じたいねがいを 支援する



鳥取大学

寺川志奈子

てらかわ しなこ／鳥取大学地域学部。研究テーマは「子どもの自我、自己、および社会性の発達と教育的支援」について。共著に『自閉症児・発達障害児の教育目標・教育評価1 子どもの「ねがい」と授業づくり』(クリエイツかもがわ)など

3歳児クラスの空くんは、友だちが今はさわってはいけないおもちゃをさわろうとしたのが許せなくて、「ダメー」と押してしまったり、その押された友だちが大泣きしている口の中を見て、「虫歯がいっぱいある。歯医者さんに行かなくちゃ」と言つたりします。さらには、なかなか気持ちが收まらず、保育士になだめてもらつているその子に「先生の言うこと聞いていい子にしているんだよ」と通り際に声をかけたりします。空くんからすると、いずれも空くんなりの「正義感」に基づく行動なのですが、思いが一方的で、なかなかその場の状況や相手の気持ちを読み取るのがむずかしいことがわかります。

また、空くんは音への過敏性があつて、サイレンや水道の音がし始めると耳をふさぐなど不安な気持ちになりやすいようです。じつとしていられずに部屋の中を走り回るのですが、注意を受けることによっても敏感で、そんな時は保育士に物を投げたり、頭突きをしたりして気持ちを発散させる様子が見られます。

こうした空くんの言動は周りにとつて困った行動として映つてしまい、きつちりと指導してなんとかやめさせなくては、と関わる大人はあせつてしまふかもしれません。一方で、見方を変えると実は一番困っているのは、「いい自分」でありたいのに思いが誤解されて叱られてしまうことが多い、うまく周りと関係が築けない空くん自身だとみることがあります。

できるのではないでしようか。

そんな空くんがクラスの中で安心して楽しく過ごせて、みんなの中で「いい自分」を感じられるようになるためにはどのように支援をすればよいのでしょうか。空くんの担任、〇先生の実践を紹介しながら考えてみたいと思います。

#### 好きなことを受けとめることから始まる関係づくり

空くんは2歳児クラスに途中入園したばかりの頃、自分の教室からすぐに出で行つては赤ちゃんの部屋のおもちゃをいじつたり、職員室に入つてみたり、園のいろいろなところにウロウロと出入りをしていました。この園では、園の子どもたちは園の職員みんなで責任をもつてみようというスタンスのもと、教室から飛び出した空くんを追いかけて無理に連れ戻すことはせずに、空くんが行つた先の保育士と担任が連絡し合ひながら、空くんを見守るようにしていました。

そうしている間に、空くんは、園内に二つの居場所をみつけます。一つは教室の横の小さな移動家具の中。その少し暗い小さな空間に入り込んで、ひとりまつたり過ごすことでき持ちが落ち着くようでした。そしてもう一つは廊下に置かれた金魚の水槽の前です。そこに座つて長い時間、金魚の動きをじーっと目で追つているのが好きな様子でした。先生たちは、空くんのウロウロは、初めての保育園で自分にとつて心地よい居場所を探し求めていた姿なのではないかと考えていました。そんなふうに空くんのウロウロが前向きな姿としてとらえられ、禁止されなかつたことで、空くんは園の中に安

心できる居場所を自分からみつけることができたのではないかでしようか。

〇先生は、空くんが自ら選んだ居場所を大切なものとして受けとめ、時間のとれる時はできるだけ、水槽の前で金魚の動きをじつと見ている空くんの横並びに座つて、「空くんにはこの動きや色がおもしろいんだね」という気持ちで一緒に金魚を見るようにしました。そんな時間が繰り返されるうちに、空くんは〇先生のことがだんだん気になります。「先生も金魚を見てくれているかな?」といつたふうに、ちらちらと〇先生を振り返つて見るようになりました。そして、「黒い金魚もいるで」と教えてくれる姿も見られるようになりました。空くんの好きなことに〇先生が心を寄せて共有することから、空くんにとつて安心できる先生との信頼関係が築かれ始めました。

〇先生はクラスの中でも空くんが落ち着けるように、空くんのロッカーを教室の隅にして、となりにお気に入りの積木コーナーを置く環境づくりもされました。そうした配慮のあと、空くんは自分のペースでゆっくりしたり、好きなものにじっくり関われる場所ができる、心穏やかに落ち着いて過ごせる時間が少しづつ増えていきました。

#### 友だちとつながりたいねがいを実現する

3歳児クラスにあがると、空くんはクラスの特定の友だちのことが気になり始めます。そして、関わりたいけれどどうまく関わることができずにトラブルになつてしまいがちでした。

# 友達を見る眼をゆたかに、 おおらかに